

計画項目番号	49	計画担当部課	基盤整備部 都市整備課			
基本的方策	IV 適正な財政運営	計画作成部課	基盤整備部 都市整備課			
重点項目	i 計画的な予算執行	計画関係部課	基盤整備部 都市整備課			
計画項目名	市営住宅の長寿命化					
現状と課題 (取組の必要性) 取組項目の概要 (具体的手法)	<p>現在、市では299戸の市営住宅を管理しているが、全住戸の38%にあたる113戸が耐用年数の1/2を経過している状況にあって、これまでの対症療法型の修繕対応では建物の劣化を早めることになりかねない。</p> <p>このため、平成26年3月に策定した「飛騨市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、予防保全的見地から計画的な改善事業を実施することにより建物の耐久性を向上させ、長寿命化を図る。（※木造については50年、RC造については70年使用することとして試算）</p>					
取組による効果 (具体的目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な改善事業実施により建物の長寿命化を図り、次回建て替え時期を延ばすことで、ライフサイクルコストを縮減する。</li> <li>平成27年度から平成30年度に改修を予定している12団地で、期間中約1,800万円のライフサイクルコスト改善効果を見込む。</li> </ul>					
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計 画	取組内容	次年度改修対象団地の事業着手準備	細江団地、栄団地、杉原団地の外壁塗装改修、西忍団地、打保住宅の屋根塗装改修	下気多団地の外壁塗装改修、林団地、角川団地の屋根塗装改修、杉原団地の給水管改修	新栄町団地の屋根塗装改修、細江団地、栄団地、下気多団地の給水管改修	嶋団地、中家団地、宮川団地の屋根塗装改修
	目標		5団地の改修  (ライフサイクルコスト平均改善額約220万円)	4団地の改修  (ライフサイクルコスト平均改善額約450万円)	4団地の改修  (ライフサイクルコスト平均改善額約500万円)	3団地の改修  (ライフサイクルコスト平均改善額約630万円)
	目標の説明 (数値目標の場合は根拠)		国交省配布プログラムによる試算	国交省配布プログラムによる試算	国交省配布プログラムによる試算	国交省配布プログラムによる試算
実 績	取組内容					
	目標に対する結果					
	結果の説明 (数値結果の場合は根拠)					
評 価	評価					
	評価の理由及び説明					
見直し	計画改良が必要な点、翌年度以降計画の何を見直したか					
備考 (特記事項)						

計画項目番号	50	計画担当部課	基盤整備部 都市整備課			
基本的方策	IV 適正な財政運営	計画作成部課	基盤整備部 都市整備課			
重点項目	i 計画的な予算執行	計画関係部課	基盤整備部 都市整備課			
計画項目名	克雪住宅整備補助金の廃止					
現状と課題 (取組の必要性) 取組項目の概要 (具体的手法)	<p>高齢化が進む本市において、除排雪作業の軽減化を目的として、新築及び改修による住宅整備（落雪化、融雪化、耐雪化）を行った個人を対象に補助金を交付している。</p> <p>【補助率】一般世帯：費用の30%で最大30万円 特別世帯：費用の50%以内で最大50万円</p> <p>合併以後、継続されてきた事業であるが、年々申請者が漸減してきていること、燃料費の高騰によって設置したにもかかわらず融雪装置を使用しない者が存在すること等、補助形態そのものの適正性と必要性の検証を行う必要がある。このため、同事業を終了する。</p> <p>なお、当該補助制度は、第二次行政改革において平成25年度で廃止予定であったが、制度利用者への配慮から暫定的に継続してきた経緯もある。ただし、高齢者世帯・母子世帯等への配慮は必要であることから、今後、別形態の助成制度等の整備検討が必要である。</p>					
取組による効果 (具体的目標)	制度完了によって、同事業にかかる補助金額を削減することができる。					
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計 画	取組内容	事業内容、必要性の検証	補助事業の実施 補助事業廃止の住民周知	事業完了。	前年度に同じ	前年度に同じ
	目標	将来的方針の決定	当該年度をもって事業終了	事業廃止による予算削減 (効果額 1,800万円)	前年度に同じ	前年度に同じ
	目標の説明 (数値目標 の場合は 根拠)			平成26年度予算額	前年度に同じ	前年度に同じ
実 績	取組内容					
	目標に 対する結果					
	結果の説明 (数値結果 の場合は 根拠)					
評 価	評価					
	評価の理由 及び説明					
見 直 し	計画改良が 必要な点、 翌年度以降 計画の何を見 直したか					
備 考 (特記事項)						